

覚、妄想などの陽性症状と、無気力、無関心、抑うつなどの陰性症状に分ける考え方がある。認知症患者の約60～90%が少なくとも1つ以上のBPSD症状を呈し、特に無関心、興奮、易刺激性、抑うつなどの頻度が高い⁹⁾。BPSDの陽性症状に対しては抗精神病薬や気分安定剤（抗てんかん薬）が、陰性症状に対しては脳循環・代謝改善薬や抗うつ薬などが用いられている。BPSDの陽性症状に対して近年最もよく用いられるようになったのは、リスペリドン、オランザピン、クエチアピンなどの非定型抗精神病薬である。しかし、2005年に米国食品医薬品管理局が死亡率の増加を示したことからその適応については議論が続いている。使用する場合はそのリスクや保険適応外診療であること等について十分に説明し、患者および家族の理解を得た上で慎重に使用することが現実的対応と思われる。

4. おわりに

ADに対する治療薬には、コリンエステラーゼ阻害薬として本邦で唯一使用できる塩酸ドネペジルの他に、リバスチグミン、ガランタミン、またNMDA受容体阻害薬としてメマンチンがある。最近、これらの薬剤は対症的な作用だけでなく、病態の進行を抑制するdisease modifierとしての作用も期待されている。現在、A β に関する研究からA β の産生・代謝に関与する酵素阻害薬および免疫療法などが開発されてきている。一方、患者の家族にとって大きな問題

となるBPSDに対する薬物療法を今後確立することが必要と思われる。ADの発症機序は未だ明らかでない状況ではその危険因子を明らかにし、それに介入することで発症を抑制、あるいは、症状の進行を抑制するADの予防に関する科学的研究が今後重要となる。

文献

- 1) Davies P, et al. Selective loss of central cholinergic neurons in Alzheimer's disease. *Lancet* 1976;2:1403.
- 2) Whitehouse PJ, et al. Alzheimer disease:evidence for selective loss of cholinergic neurons in the nucleus basalis. *Ann Neurol* 1981;10:122~126.
- 3) Schenk D, et al. Immunization with amyloid-beta attenuates Alzheimer-disease-like pathology in the PDAP. *Nature* 1999;400:173-177.
- 4) Ikeda M, et al. Dementia associated mental and behavioural disturbances in elderly people in the community:findings from the first Nakayama study. *J Neurol Neurosurg Psychiatry*. 2004;75:146-148.
- 5) 下濱 俊. アルツハイマー病の治療—現状と解決すべき諸問題. *日薬理誌*. 2008;131:351-356

お知らせ

サービス産業動向調査への協力について

◇情報広報部◇

総務省統計局が本年7月から新たに実施する「サービス産業動向調査」について、日本医師会を通じて協力方の依頼がありましたのでお知らせいたします。

本調査は、サービス産業全体の生産と雇用の動向を明らかにするために、サービス産業（第3次産業）の事業や活動を行っている全国の事務所・店舗等の事業所のうち、約39,000事業所を対象に毎月実施されるものです。総務省統計局に確認したところ、北海道内かつ医科の病院・診療所として53医療機関が対象になっているとのことです。

調査の内容については、本会ホームページ (<http://www.hokkaido.med.or.jp/>) の重要情報に掲載の文書をご参照ください。

対象となられた医療機関におかれましては、本調査にご協力いただきたくお願い申し上げます。